



株式会社ダイヤモンドダイニング

2016年2月期 決算説明資料 I

(財務・事業戦略情報)

2016年4月14日
(証券コード:3073)

1. 連結業績結果(2016年2月期)
2. 連結業績予想(2017年2月期)
3. 配当及び株主優待制度

連結P/L 決算ハイライト

単位:百万円

下段	2015年2月期	2016年2月期	伸び率	コメント
	対売上構成比(%)	対売上構成比(%)	構成比増減	
売上高	26,079	29,820	+14.3%	<p>2ケタ増収、国内過去最高営業利益も、一過性損失嵩み当期純利益は赤字へ</p> <p>(売上高)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 新規出店等により売上高が大きく伸長 Cf1: 当期43店舗/前期31店舗 Cf2: 国内既存店売上高前年対比101.2% <p>(販管費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人件費、地代家賃、消耗品や減価償却費等 新規出店関連コストの増加 ➢ 販売促進費、水道光熱費、衛生費等の運営費も新規店舗分増加 <p>(特別損失)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ Diamond Dining Singapore Pte. Ltd.(シンガポール)の事業撤退等による固定資産やのれん減損等、全社で411百万円特損計上 <p>(法人税等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 繰延税金資産の取崩し他による法人税等の増加(+408百万円)
売上原価	5,619 21.5%	6,481 21.7%	+15.3% +0.2point	
売上総利益	20,459 78.5%	23,338 78.3%	+14.1% ▲0.2point	
販管費	19,495 74.8%	22,385 75.1%	+14.8% +0.3point	
営業利益	964 3.7%	952 3.2%	▲1.2% ▲0.5point	
経常利益	956 3.7%	889 3.0%	▲7.0% ▲0.7point	
税引前利益	771 3.0%	514 1.7%	▲33.3% ▲1.2point	
当期純利益	385 1.5%	▲262 -	- -	
1株当たり利益 (単位:円.銭)	54.36	▲36.62	-	
EBITDA	1,770 6.8%	1,964 6.6%	+10.9% ▲0.2point	

(注)EBITDA: 営業利益に減価償却費、のれん償却費、権利金償却費、長期前払費用償却費を加算して算出

セグメント別P/L

単位:百万円

売上高	2015年2月期	2016年2月期	伸び率
国内飲食事業	18,371	20,812	+13.3%
海外飲食事業	968	1,654	+70.7%
アミューズメント事業	6,684	7,317	+9.5%
ライセンス事業	54	36	▲33.4%
合計	26,079	29,820	+14.3%
営業利益 下段	2015年2月期	2016年2月期	伸び率
	対売上構成比(%)	対売上構成比(%)	構成比増減
国内飲食事業	1,877 10.2%	1,972 9.5%	+5.1% ▲0.7point
海外飲食事業	▲202 -	▲347 -	- -
アミューズメント事業	838 12.5%	1,133 15.5%	+35.2% +2.9point
ライセンス事業	15 28.5%	17 48.8%	+13.8% 20.2point
本部調整	▲1,563	▲1,823	-
合計	964 3.7%	952 3.2%	▲1.2% ▲0.5point

コメント
<p>(国内飲食事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 積極的な新規出店等により増収 Cf: 当期38店舗出店/前期21店舗 ➤ 一部、新規出店店舗において、想定以上の開店費用(イニシャルコスト)計上 ➤ 営業利益率 ▲0.7point悪化
<p>(海外飲食事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ハワイ2号店目の認知度向上による売上急伸が寄与し、前期比+70%の大幅増収 ➤ Diamond Dining Singapore Pte. Ltd.(シンガポール)業績不振による事業撤退 ➤ ハワイ3号店目及びハワイウェディング事業(ともに開始1年目)の費用先行により、赤字幅が拡大
<p>(アミューズメント事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 新規出店、既存店好調により増収 Cf: 当期4店舗出店/前期3店舗 ➤ 売価適正化に向けたメニュー改変等の施策により、営業利益率 2.9point改善

店舗数及び出退店状況

- 国内/海外合わせて43店舗(過去最多)の新規出店 13店舗の退店により、直営店舗数は265店舗
- Diamond Dining Singapore Pte. Ltd.(シンガポール)事業撤退に伴い、同社が運営する6店舗のうち2店舗を閉鎖

下段:増減数

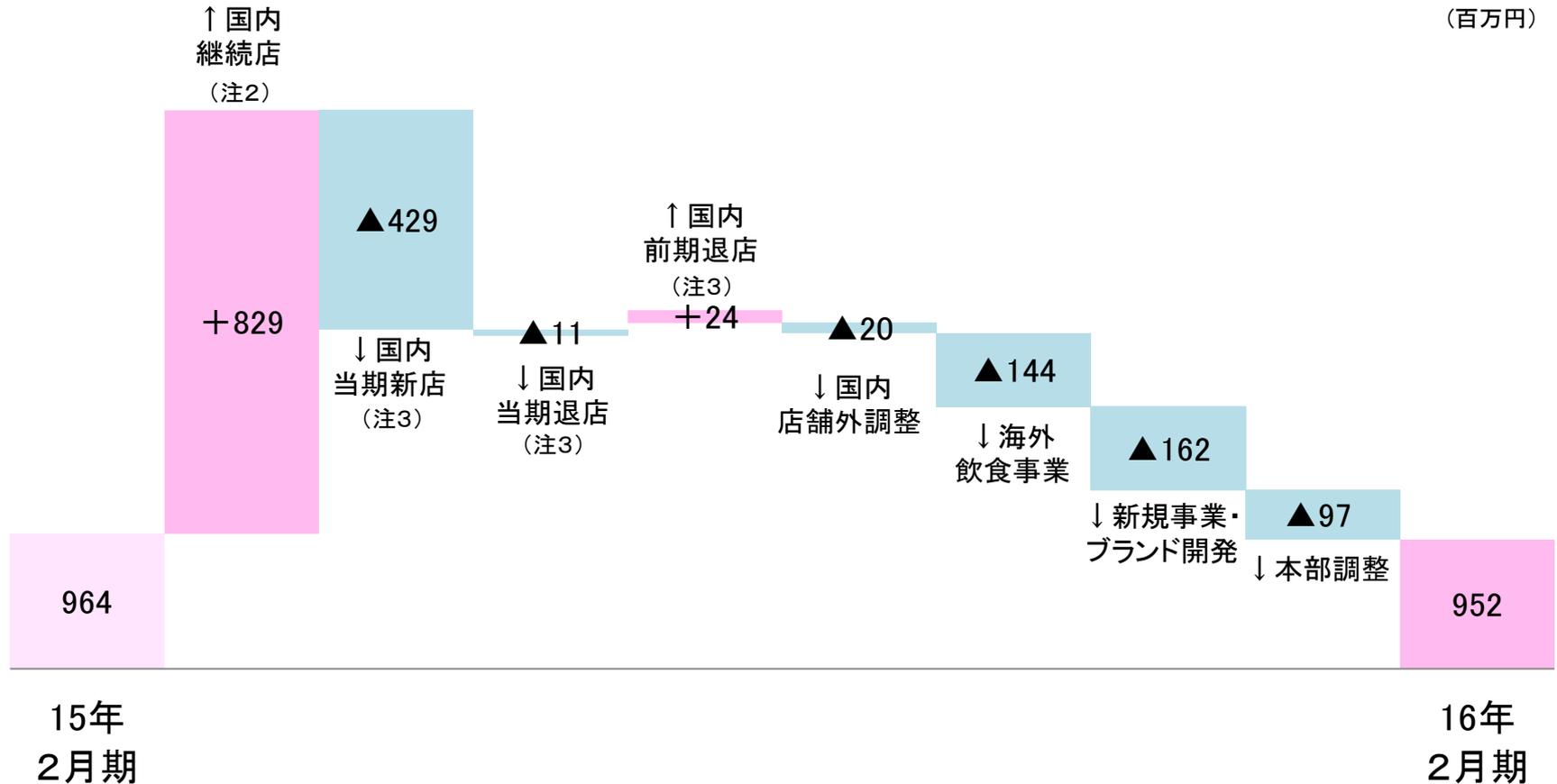
	2015年2月期				2016年2月期			
	新規出店	業態変更	退店	期末店舗数	新規出店	業態変更	退店	期末店舗数
国内飲食事業	21	13	11	183	38	6	8	212
海外飲食事業	7	0	0	8	1	0	2	7
アミューズメント事業	3	0	1	45	4	0	3	46
直営店舗数	31	13	12	236	43 (+12)	6 (▲7)	13 (+1)	265 (+29)
ライセンス事業	0	0	0	9	0	0	0	9
店舗総数	31	13	12	245	43 (+12)	6 (▲7)	13 (+1)	274 (+29)

(注1)国内飲食事業の新規出店38店舗のうち、13店舗は資産譲受等による増加

(注2)2016年2月期における国内飲食事業の業態変更について、業態変更による店舗集約により店舗数が1店舗減

営業利益対前年増減要因

- 国内において一部新規出店店舗の开店費用(イニシャルコスト)が膨らみ営業利益を圧迫
- 海外においてシンガポールの事業撤退やハワイ3号店目及びハワイウェディング(ともに開始1年目)の費用先行により、赤字幅が拡大



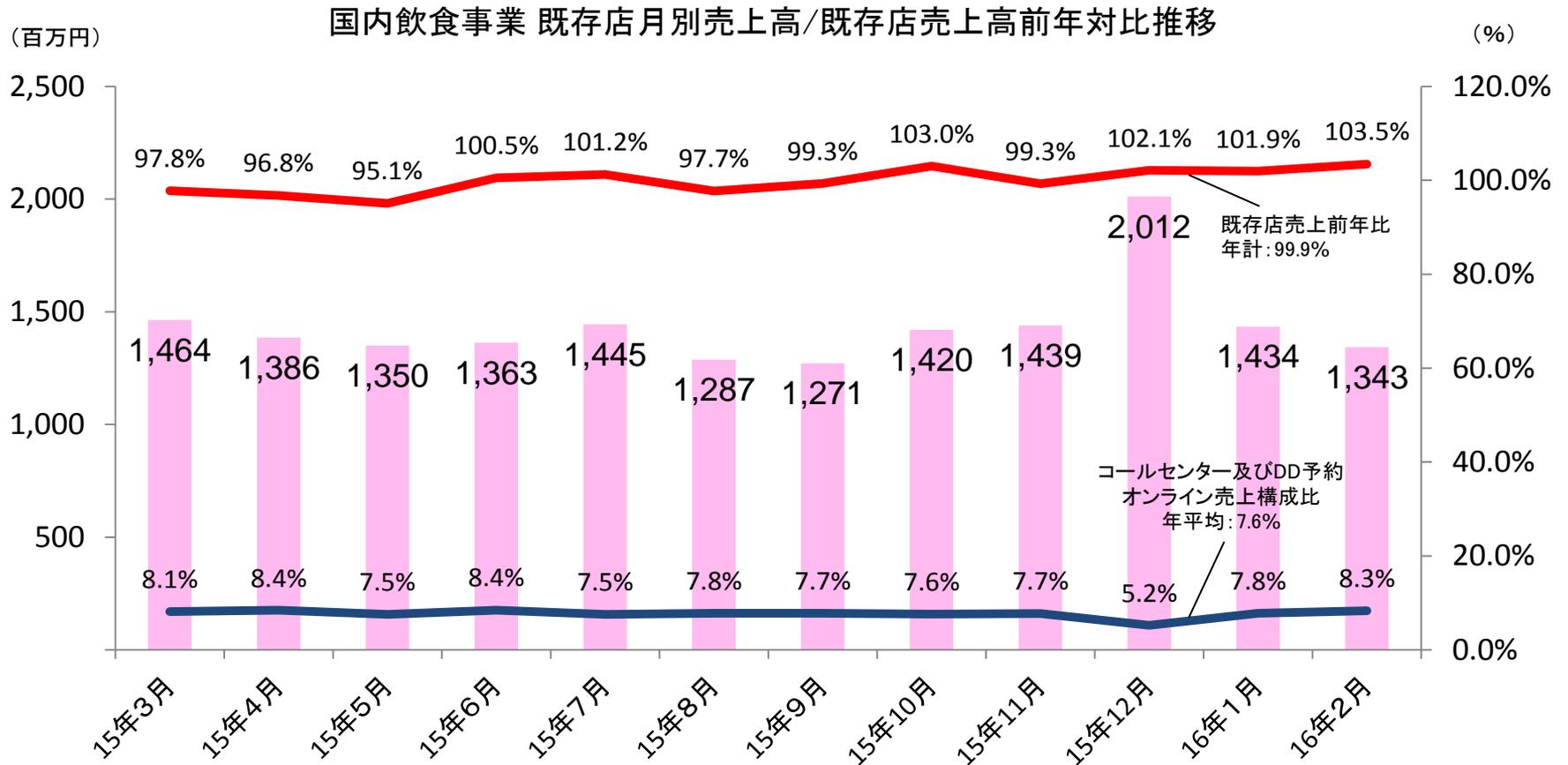
(注1) 国内には国内飲食事業、及びアミューズメント事業、ライセンス事業を含む

(注2) 当期新店、当期退店、前期対店以外を継続店営業利益と換算

(注3) 当期新店: 2015年3月-2016年2月出店、当期退店: 2015年3月-2016年2月退店、前期退店: 2014年3-2015年2月退店とする

～参考～ 国内飲食事業

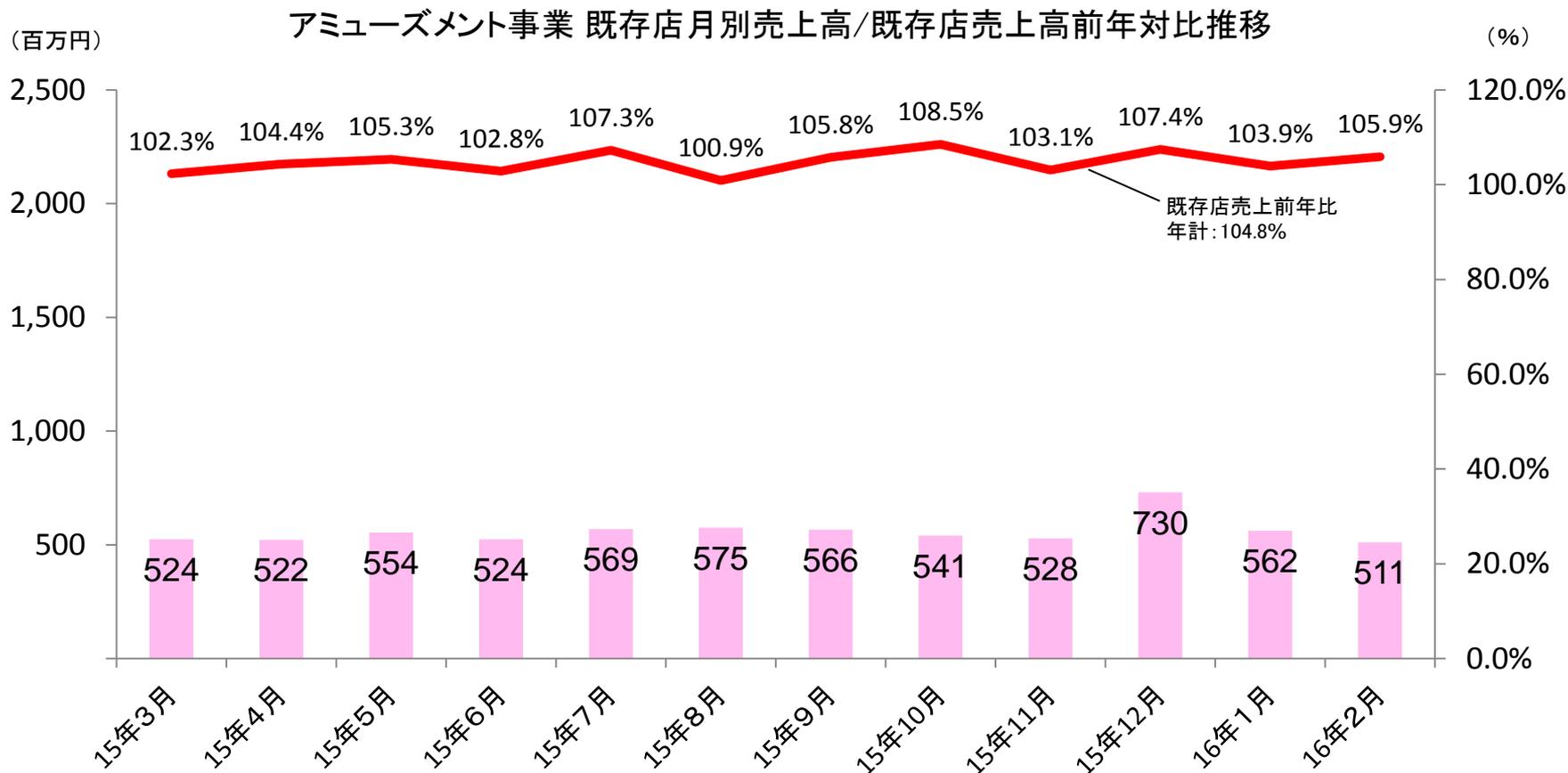
- 国内飲食事業における既存店売上高前年対比は99.9%
- コールセンター及びDD予約オンライン売上が底上げに貢献



(注1) 既存店: オープン後13ヶ月経過した店舗(業態変更店舗含む)。但し、改装等により稼働していない期間があった店舗は当該月のみ除外

(注2) コールセンター及びDD予約オンライン売上をすべて既存店売上貢献と想定

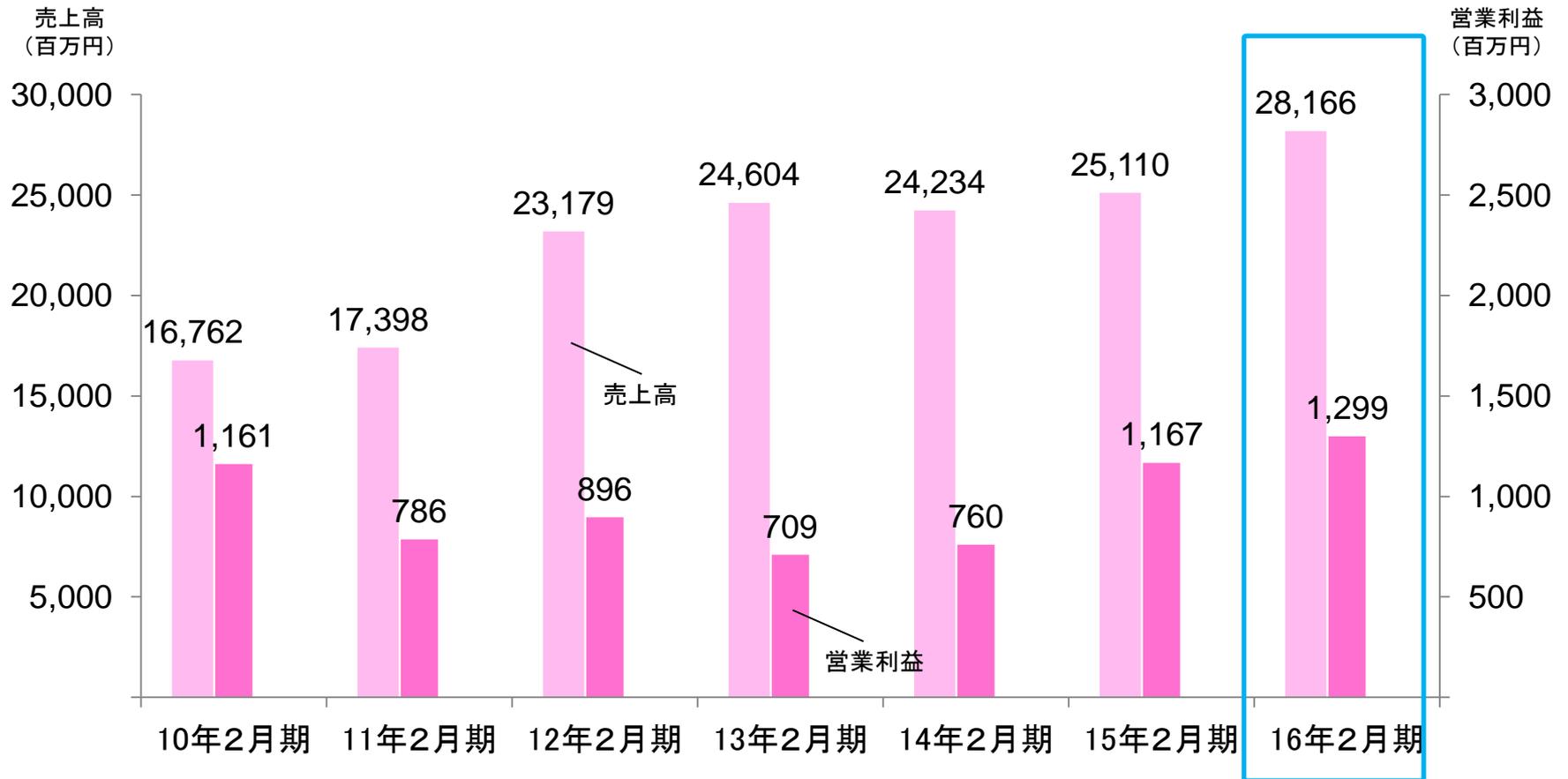
- アミューズメント事業における既存店売上高前年対比は104.8%と好調に推移
- 24ヶ月連続既存店売上高前年対比100%超え(2016年3月度も連続更新中)



(注) 既存店: オープン後13ヶ月経過した店舗(業態変更店舗含む)。但し、改装等により稼動していない期間があった店舗は当該月のみ除外

～参考～ 国内 売上高/営業利益推移

■ 2016年2月期、国内において過去最高売上高/営業利益を達成



(注) 国内事業には国内飲食事業、及びアミューズメント事業、ライセンス事業を含む

- 税金等調整前当期純利益の減少により営業キャッシュフローは減少
- 新規出店等にかかる有形固定資産の取得(前期比937百万円増加)、及び差入保証金による支出等により、投資キャッシュフローは増加
- 当期借入による収入を抑えた結果、現金及び現金同等物の増加額は減少

単位:百万円

	2015年2月期	2016年2月期	増減
営業キャッシュ・フロー	1,723	1,380	▲343
投資キャッシュ・フロー	▲2,048	▲2,536	▲487
フリーキャッシュ・フロー	▲324	▲1,155	▲831
財務キャッシュ・フロー	1,044	567	▲476
現金及び現金同等物の増加額	717	▲595	▲1,312
現金及び現金同等物の期末残高	4,503	3,908	▲595

連結B/S 資産の部サマリー

単位:百万円

資産増減		コメント
2015年2月末	14,686	
現金及び預金	▲569	<ul style="list-style-type: none"> 流動資産 ▲408 現金及び預金 ▲569
売掛債権	+59	<ul style="list-style-type: none"> 売掛債権及び棚卸資産 主に売上増に伴い増加
棚卸資産	+30	
その他流動資産	+71	
有形固定資産	+1,828	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産 +1,559 有形固定資産 +1,828 主に新規出店に伴い増加 建物 +1,781 備品 +417
無形固定資産	▲290	<ul style="list-style-type: none"> 無形固定資産 ▲290 のれんの減少による ▲268 (主にシンガポール撤退決定に伴う)
投資その他資産	+21	<ul style="list-style-type: none"> 投資その他資産 +21 新規出店による差入保証金増加 +336 繰延税金資産取崩し ▲254
繰延資産	+34	
2016年2月末	15,872	<ul style="list-style-type: none"> 繰延資産 +34 国内ウェディング事業((株)The Sailing)における開業費
	<u>+1,185</u>	

連結B/S 負債・純資産の部サマリー

単位:百万円

負債・純資産増減		コメント
2015年2月末	14,686	
買掛債務	+88	➤ 負債 +1371 買掛 +88 売上増に伴い増加
その他流動負債	+144	その他流動負債 +144 1年以内返済予定の長期借入金 +241 1年以内償還社債 ▲140
固定負債	+1,138	固定負債 +1,138 社債 ▲260 長期借入金 +933 資産除去債務 +620 (賃貸借契約に係る原状回復費積み増し)
資本金・資本 剰余金	+56	
利益剰余金	▲344	
その他包括利益 累計額	+21	➤ 純資産 ▲186 利益剰余金 ▲344
その他純資産	+81	その他包括利益累計額 +21 為替換算調整勘定 +21
2016年2月末	15,872	その他純資産 +81 少数株主持分 +83
	<u>+1,185</u>	

1. 連結業績結果(2016年2月期)

2. 連結業績予想(2017年2月期)

3. 配当及び株主優待制度

店舗数及び出退店予想

- 高収益業態である「熱中屋」「わらやき屋」「BDK」「GCC」等の新規出店により全社で8店舗の純増を狙う
- 海外飲食事業では、Diamond Dining Singapore Pte. Ltd.(シンガポール)が運営する残り4店舗を閉鎖(すでに3店舗撤退済)

下段: 増減数

	2016年2月期				2017年2月期			
	新規出店	業態変更	退店	期末店舗数	新規出店	業態変更	退店	期末店舗数
国内飲食事業	38	6	8	212	16	0	8	220
海外飲食事業	1	0	2	7	1	0	4	4
アミューズメント事業	4	0	3	46	5	0	2	49
直営店舗数	43	6	13	265	22 (▲21)	0 (▲6)	14 (▲3)	273 (+8)
ライセンス事業	0	0	0	9	4	0	0	9
店舗総数	43	6	13	274	26 (▲21)	0 (▲6)	14 (▲3)	284 (+12)

2017年2月期 連結業績予想

単位:百万円

下段	2016年2月期	2017年2月期	伸び率	コメント
	対売上構成比(%)	対売上構成比(%)	構成比増減	
売上高	29,820	30,632	+2.7%	<p>増収増益(当期純利益黒字化)、 営業・経常利益ともに10億円強見込む</p> <p>(売上高) > 新規出店等により売上高伸長 Cf1: 当期22店舗/前年43店舗 Cf2: 既存店売上高前年対比99.6%</p> <p>(売上原価率) > 食材の継続的値上り懸念も前期並みを想定</p> <p>(販管費) > 新規出店数減少により、新規出店関連コスト抑制 > アミューズメント及び海外のれん償却費減 > 雇用継続/人材育成等にかかるコスト、及び 資産除去債務の償却負担増を織り込み</p> <p>(特別損失) > 一部、業績不振店への予防策として全社で 200百万円予算化</p>
売上原価	6,481 21.7%	6,674 21.8%	+3.0% +0.1point	
売上総利益	23,338 78.3%	23,957 78.2%	+2.7% ▲0.1point	
販管費	22,385 75.1%	22,908 74.8%	+2.3% ▲0.3point	
営業利益	952 3.2%	1,048 3.4%	+10.1% +0.2point	
経常利益	889 3.0%	1,016 3.3%	+14.3% +0.3point	
税引前利益	514 1.7%	813 2.7%	+58.2% +0.9point	
当期純利益	▲262 -	302 1.0%	- -	
1株当たり利益 (単位:円・銭)	▲36.62	42.03	-	
EBITDA	1,964 6.6%	2,106 6.9%	+5.6% +0.3point	

(注) EBITDA: 営業利益に減価償却費、のれん償却費、権利金償却費、長期前払費用償却費を加算して算出

2017年2月期 セグメント別P/L

単位:百万円

売上高	2016年2月期	2017年2月期	伸び率
国内飲食事業	20,812	20,792	▲0.1%
海外飲食事業	1,654	1,980	+19.8%
アミューズメント事業	7,317	7,792	+6.5%
ライセンス事業	36	65	+80.3%
合計	29,820	30,632	+14.3%

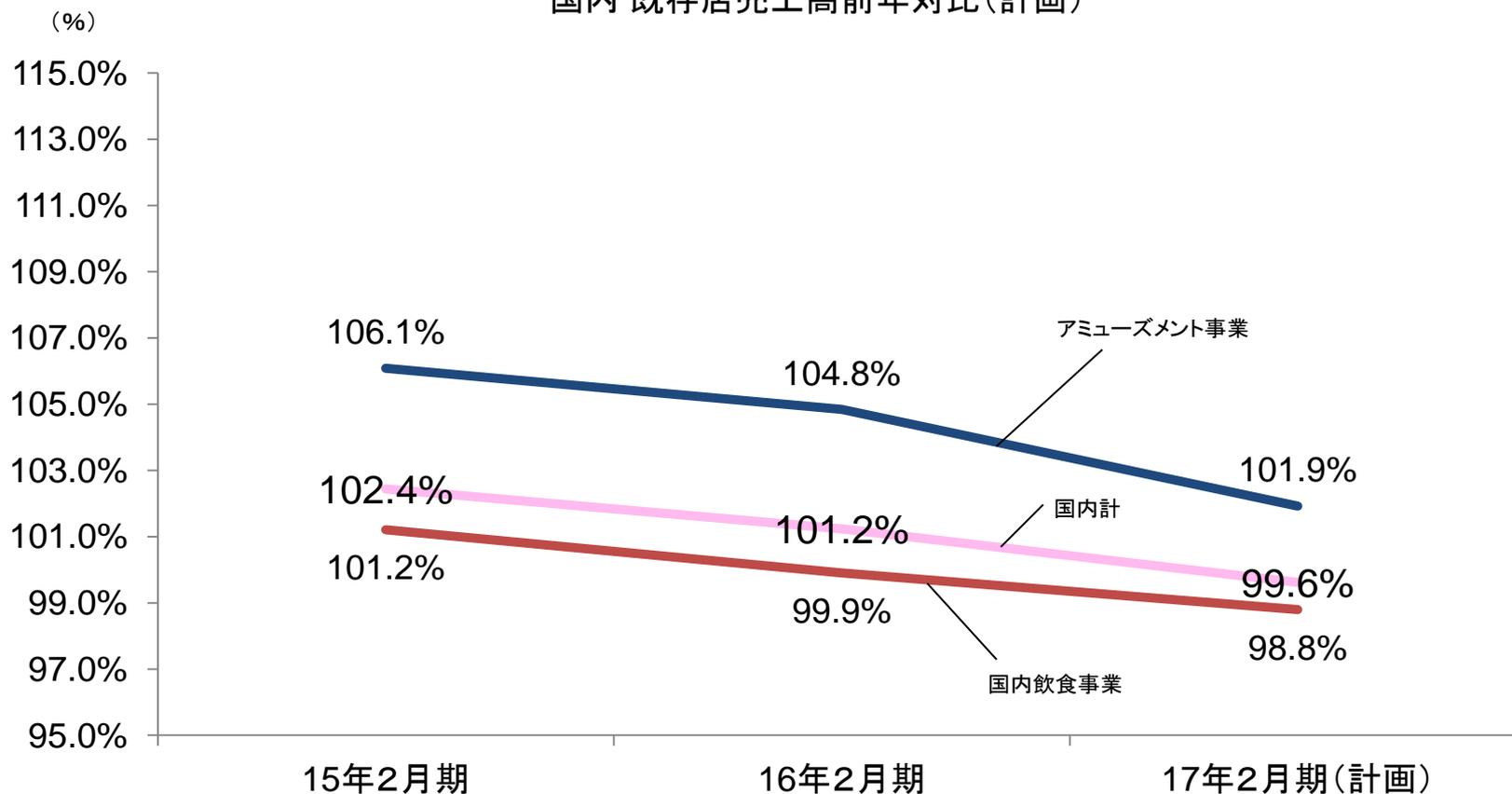
営業利益 下段	2016年2月期	2017年2月期	伸び率
	対売上構成比(%)	対売上構成比(%)	構成比増減
国内飲食事業	1,972 9.5%	2,038 9.8%	+3.3% +0.3point
海外飲食事業	▲347 -	▲185 -	- -
アミューズメント事業	1,133 15.5%	953 12.2%	▲15.9% ▲3.3point
ライセンス事業	17 48.8%	41 63.9%	+136.0% +15.1point
本部調整	▲1,823	▲1,798	-
合計	952 3.2%	1,048 3.4%	10.1% +0.2point

コメント
<p>(国内飲食事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 新規出店等による増収計画 Cf: 当期16店舗出店/前期38店舗 ➢ 前期出店店舗の収益化により、営業利益率改善をはかる
<p>(海外飲食事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 新規出店等による増収計画 Cf: 当期1店舗出店/前期1店舗 ➢ シンガポール事業撤退による赤字解消 ➢ ハワイ2号店目の収益拡大、ハワイウェディングの受注増による赤字幅縮小
<p>(アミューズメント事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 既存店は依然好調、前期出店店舗の収益化促進 ➢ 一方、契約満了による優良店舗の退店等により営業利益減少見込み Cf: 優良店退店 当期2店舗/前期3店舗 計5店舗退店

国内における既存店売上高前年対比(計画)

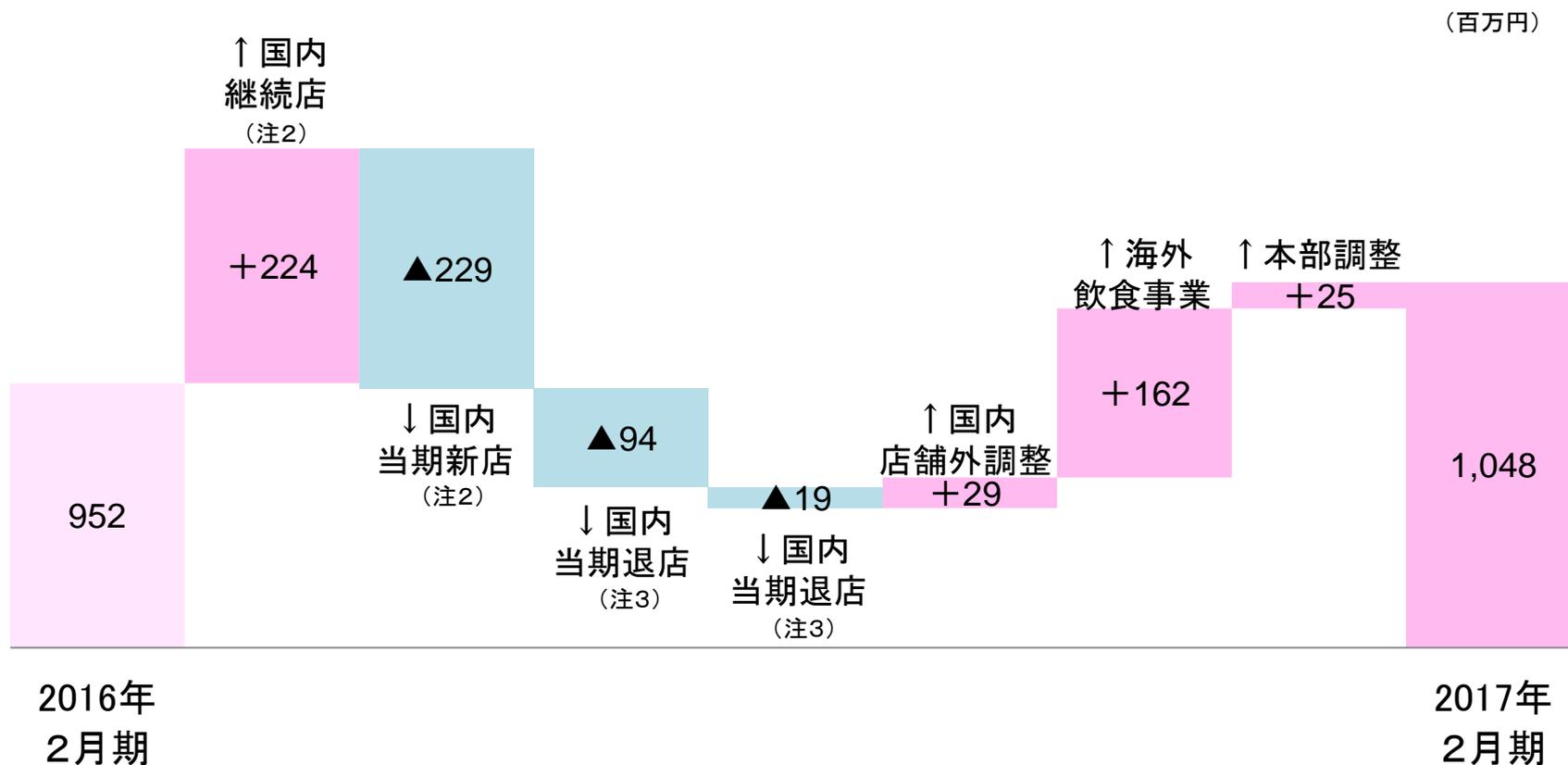
■ 国内における既存店売上高(計画)はここ数年のトレンドを元に固く試算

国内 既存店売上高前年対比(計画)



営業利益対前年増減(計画値)

- 国内において新規出店の開店費用(イニシャルコスト)や契約満了による優良店舗の退店等により、営業利益が減少
- 海外においてシンガポールの事業撤退や、ハワイ2号店目の収益拡大による営業利益改善見込み



(注1) 国内には国内飲食事業、及びアミューズメント事業、ライセンス事業を含む

(注2) 当期新店、当期退店、前期対店以外を継続店営業利益と換算

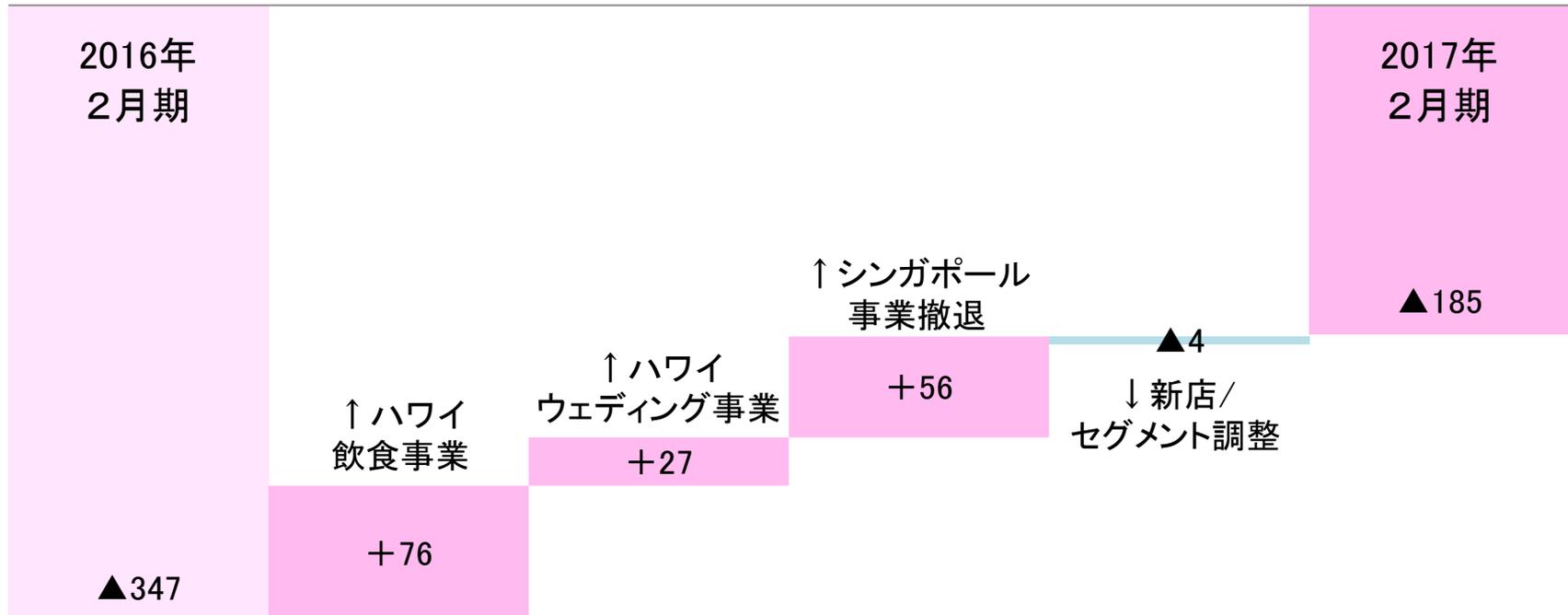
(注3) 当期新店: 2016年3月-2017年2月出店、当期退店: 2016年3月-2017年2月退店、前期退店: 2015年3-2016年2月退店とする

現状課題① 海外飲食事業

- 海外事業は、2年後の2018年2月期に黒字化を目指す
- 2017年2月期はハワイ既存事業の収益改善に注力

海外飲食事業 営業利益対前年増減(計画)

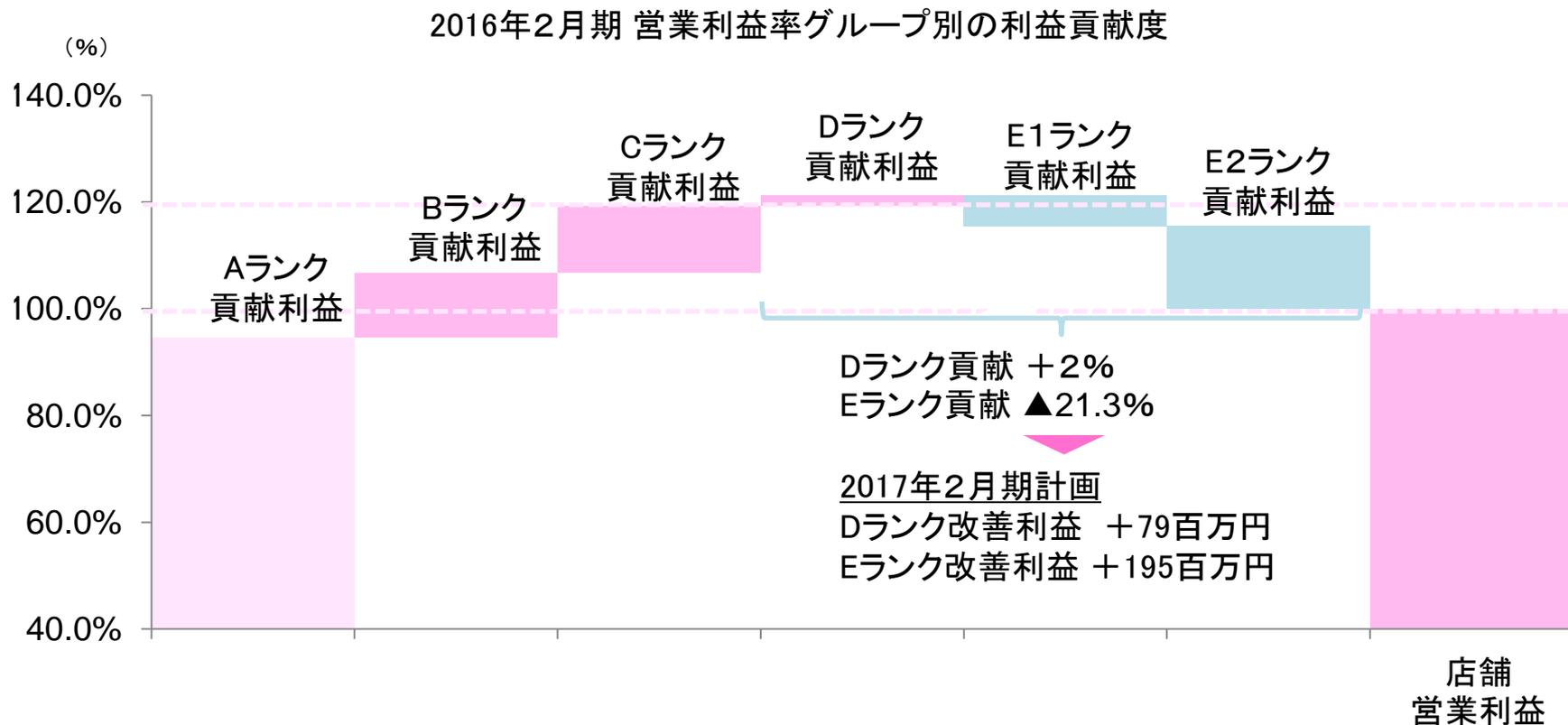
(百万円)



海外を中心とした過去の一部投資において、客観的情報に基づく投資判断が十分でなかったことを受け、特別損失計上最小化に向けた事業性評価、投資決定プロセスを再構築中

現状課題② 国内継続店における課題

- 2016年2月期 は、新期出店の赤字先行が国内継続店における営業利益を圧縮
- 2017年2月期は、D/Eランク店舗を注力店として収益性改善・早期黒字化に取り組む



今後公表予定の中期経営計画にて、具体的な改善施策を提示する予定

(注) 当社では店舗営業利益率によりA-Eランクに店舗を分類

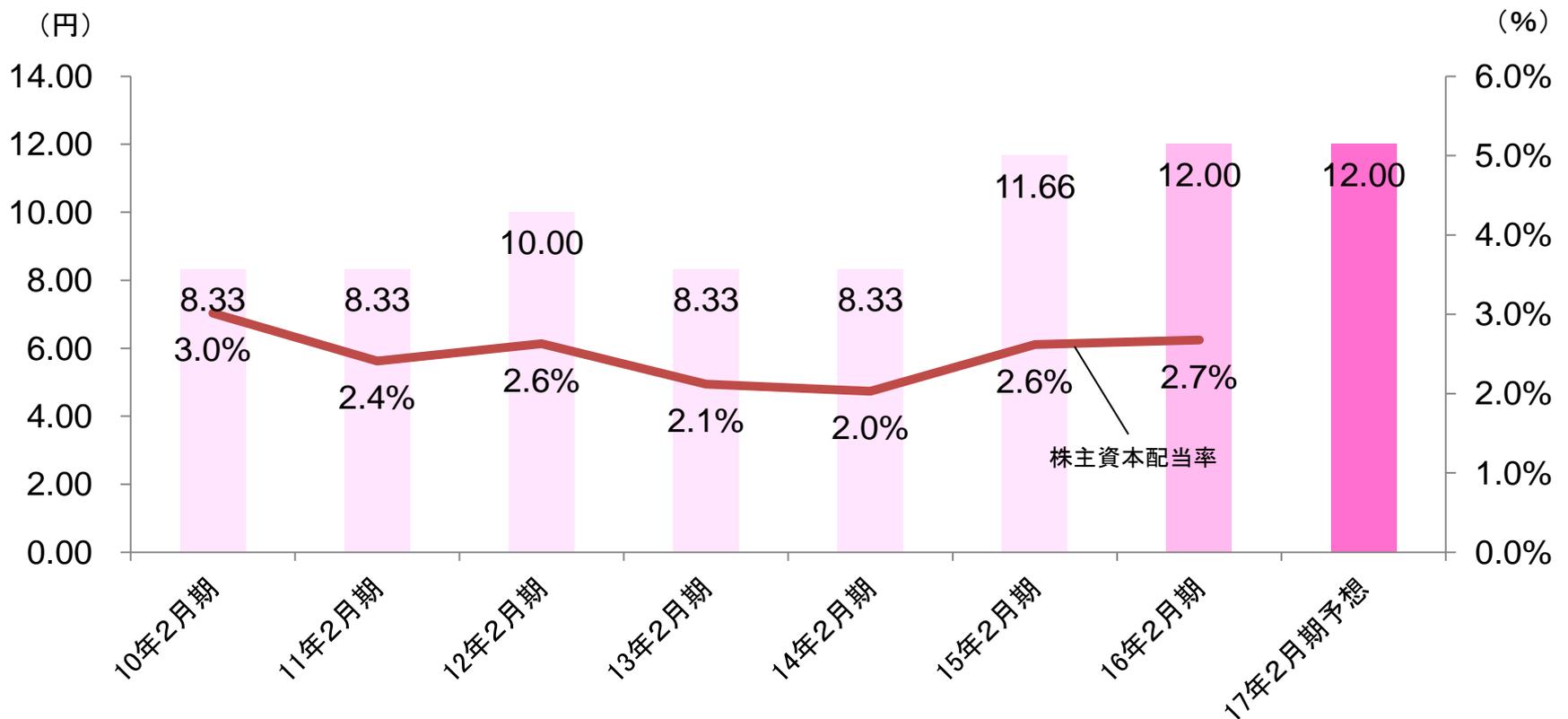
A:店舗営業利益率15%以上 B:店舗営業利益率10~15%未満 C:店舗営業利益率5~10% D:店舗営業利益率0~5% E:店舗営業利益 0%未満
(E1:継続店/E2:新規出店)

1. 連結業績結果(2016年2月期)
2. 連結業績予想(2017年2月期)
3. 配当及び株主優待制度

配当について

- 2016年2月期及び2017年2月期はともに、1株あたり12円の配当を予定
- DOE(株主資本配当率)2.5%を目安に、今後さらなる増配検討と優待制度の充実をはかる

1株あたりの配当金及びDOE(株主資本配当率)推移



※2010年2月期の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株あたりの配当金を記載

※DOE(株主資本配当率)は、年間総配当額÷自己資本にて算出

株主優待制度について

- 「株主ご優待券」(お食事券)の曜日利用制限を撤廃(2016年2月期末時点以降の株主様)
- 「DDマイル」同様、「株主ご優待券」も金土祝前日問わずいつでもご利用できるよう改善

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	「DDマイル」4,000マイル、 もしくはお食事券4,000円分
300株以上 600株未満	「DDマイル」8,000マイル、 もしくはお食事券8,000円分 もしくはお米5Kg
600株以上 3,000株未満	「DDマイル」16,000マイル、 もしくはお食事券16,000円分 もしくはお米10Kg
3,000株以上 6,000株未満	「DDマイル」24,000マイル、 もしくはお食事券24,000円分 もしくはお米15Kg
6,000株以上	「DDマイル」32,000マイル、 もしくはお食事券32,000円分 もしくはお米20Kg

【当期末の株主優待内容】



当社グループ店舗で
ご利用出来るお食事券

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

尚、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

お問合せ先

IR部

TEL : 03-6858-6081

FAX : 03-6858-6083

E-mail : ir@diamond-dining.com